



Lets トイレトレーニング！！

令和5年5月25日（木）

幼保連携型認定こども園 津田このみ学園

季節が進み、少しずつ暑くなりはじめました。洗濯物もよく乾く今の時期からトイレトレーニングを始めてみましょう。すでに家庭でトイレトレーニングを始めている子どもも多く、布パンツで生活している子どもも半数いますので、トイレトレーニングの進め方について詳しく紹介します。個人差が大きいです但参考にしてみて下さい。また、トレーニングについてのご相談は連絡帳にてお知らせ下さい。
トイレトレーニングは安心できる家庭で取り組むことが一番です。園は家庭での取り組みのサポート役をします。

STEP6

おねしょがなくなる

大体5～6歳くらいまでかかるので
長い目でゆっくりと見守ります。

STEP1

トイレに慣れよう！！

オムツ交換の度にトイレへ行きましょう。初めは出なくても座る習慣でOK！

怖がる子ども達は前もって気に入ったポスターや絵本をトイレに置いてもいいですね。

STEP2

おしっこがたまっていそうな時に トイレへ誘ってみよう！！

オムツを時々チェックして、おしっこの間隔がどれ位空いているのか調べます。（2時間くらいの間隔であればトレーニングのチャンスです！）また、もじもじする、じっとしているなど排尿しているサインを見つけるのもいいですね。

そのタイミングを参考に、トイレへ連れて行きます。朝起きてすぐ、食事の前、お風呂や就寝前など成功率が高いので初めはそこからスタートでもいいですね。

STEP3

誘う回数、成功回数を 増やす

◎あまりしつこくしない
◎子どもが夢中で遊んでいる時は誘わないのが、コツです。しつこくすると子どもがトイレを嫌いになってしまいます。大体1時間毎が目安です。

STEP4

トレーニングパンツやパンツを 履いてみよう！！

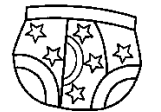
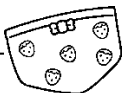
トイレでの排尿が成功してきたらトレーニングパンツにしてみましょう。

オムツよりも快適！かわいい！と思わせるのがコツです。

STEP5

自分から「おしっこに行きたい」と 言えるようになる

トイレで8～9割成功するとほぼ完了です。それからは外のトイレや和式トイレでもできるような機会を作ります。同時に男の子は立って、女の子はエビさんポーズで服を脱いでしまわずにおしっこをするやり方を伝えましょう。また、お尻の拭き方も一人でやってみて、仕上げは大人がします。



トイレトレーニングのコツ

☆最近のオムツはとても性能が良く、ほとんど濡れた感覚がありません。その為、“おしっこする”という意識が薄くなり、トイレトレーニング完了が遅くなっている原因になっています。STEP2～3と同時に布パンツにかえ、失敗＝気持ち悪いという体験も必要です。

- ① おしっこの時は「しーしー」
うんちの時は「うーん」と
耳元で声を掛ける。



- ② 大人がおもらしになれる。

☆パンツでおしっこが出てしまうことは失敗ではありません。

パンツが濡れるということを経験しています。

「きれいにしようね」と肯定的な声掛けをしましょう。

☆洗濯、掃除は大変です。しかし、イライラをぶつけてしまうと逆効果。

そんな時は、淡々と何事もなかったように後始末しましょう。

- ③ 成功したら大げさに褒める。

- ④ おまるやトイレに座ってみる。時間は長すぎないように。出ない場合でも2～3分で切り上げる。

- ⑤ 脱ぎやすいズボンやスカートを履く。

寒い時期に入ると、おしっこの間隔も短くなり、厚着で脱ぎにくいこともあり、トイレトレーニングが進みにくいです。洗濯がよく乾くこの時期に是非、始めましょう！！気になる方は各担当保育教諭にご相談下さい。

また園でトイレトレーニングを希望される際は、必ずご家庭で試されてから行いますのでご了承ください。特に平日園では布パンツですごしているのに、土日の休みにオムツで過ごしていると子どもは混乱し、トイレトレーニング完了が遅れますのでくれぐれもご注意ください。